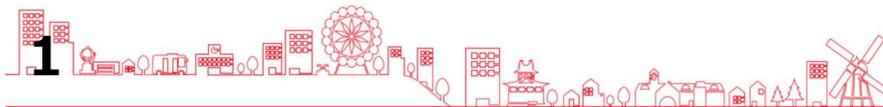


資料 1

安城市ゼロカーボンシティ推進戦略（案） について

令和6年12月5日 安城市環境審議会
環境都市推進課カーボンニュートラル推進室



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

- 1 現状と課題
- 2 戦略の基本事項
- 3 ゼロカーボンシティ実現に向けた戦略
- 4 進捗管理
- 5 質問内容
- 6 今後のスケジュール



1 現状と課題

▶地球温暖化対策の重要性

- ・熱中症による搬送者数の増加など、地球温暖化への注目度の上昇
- ・パリ協定の採択などによる、地球温暖化対策への機運の高まり

▶安城市のこれまでの状況

- ・令和4年5月にゼロカーボンシティ表明を行う。
- ・地球温暖化対策の基本方針や温室効果ガス削減目標は示しているものの、具体的な取組みについて明確になっていない。

⇒地球温暖化対策の具体的施策をまとめた計画が必要



2 戦略の基本事項

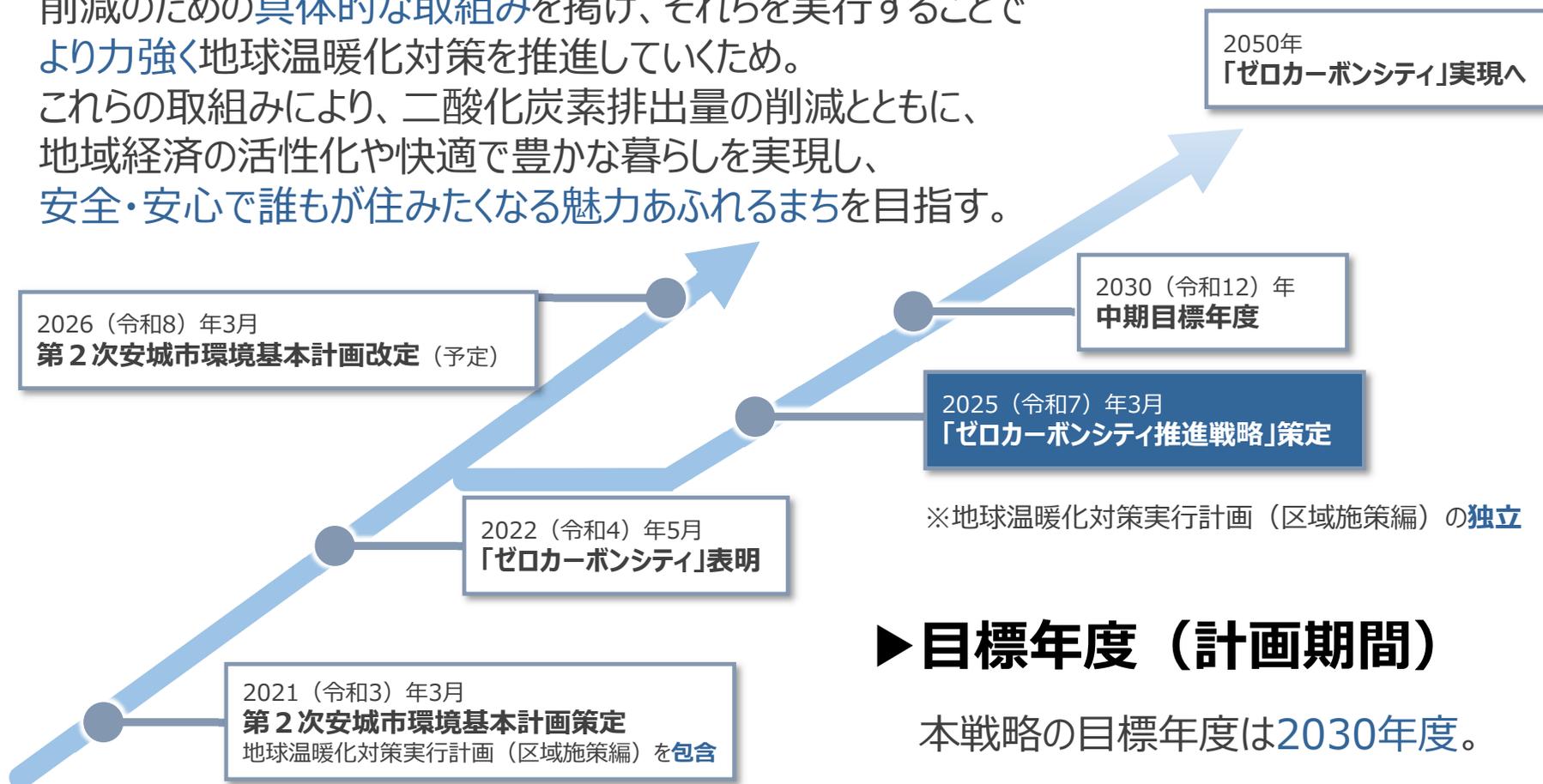
本編P5



安城市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

▶ 目的

削減すべき二酸化炭素排出量を明確にするとともに、削減のための具体的な取組みを掲げ、それらを実行することでより力強く地球温暖化対策を推進していくため。これらの取組みにより、二酸化炭素排出量の削減とともに、地域経済の活性化や快適で豊かな暮らしを実現し、安全・安心で誰もが住みたくなる魅力あふれるまちを目指す。



▶ 目標年度 (計画期間)

本戦略の目標年度は2030年度。



4

ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

2 戦略の基本事項

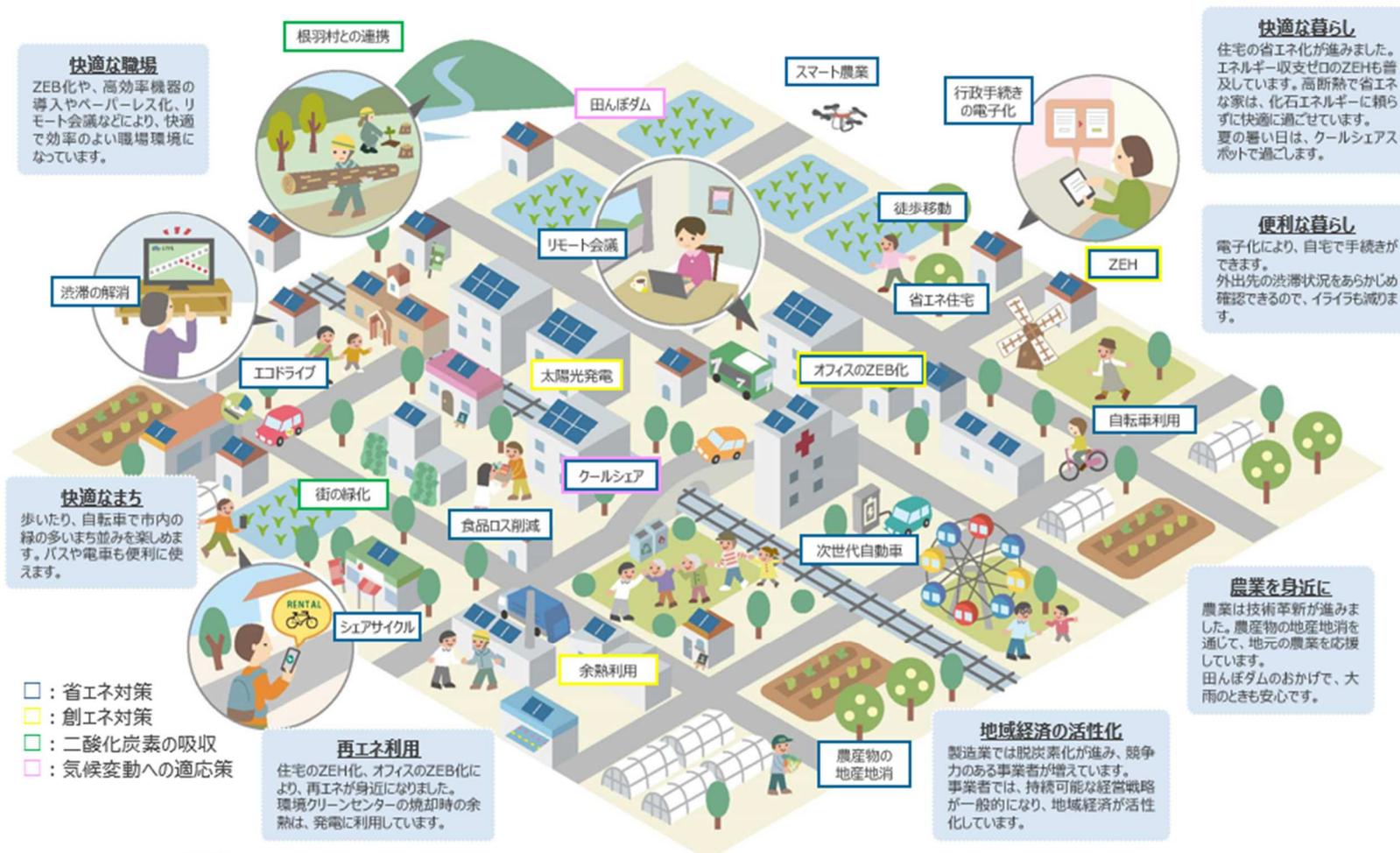
本編P6



安城市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

▶ゼロカーボンシティの姿

二酸化炭素排出量削減だけでなく、地域経済の活性化や市民が快適で過ごしやすいなどといった副次的効果が得られます。



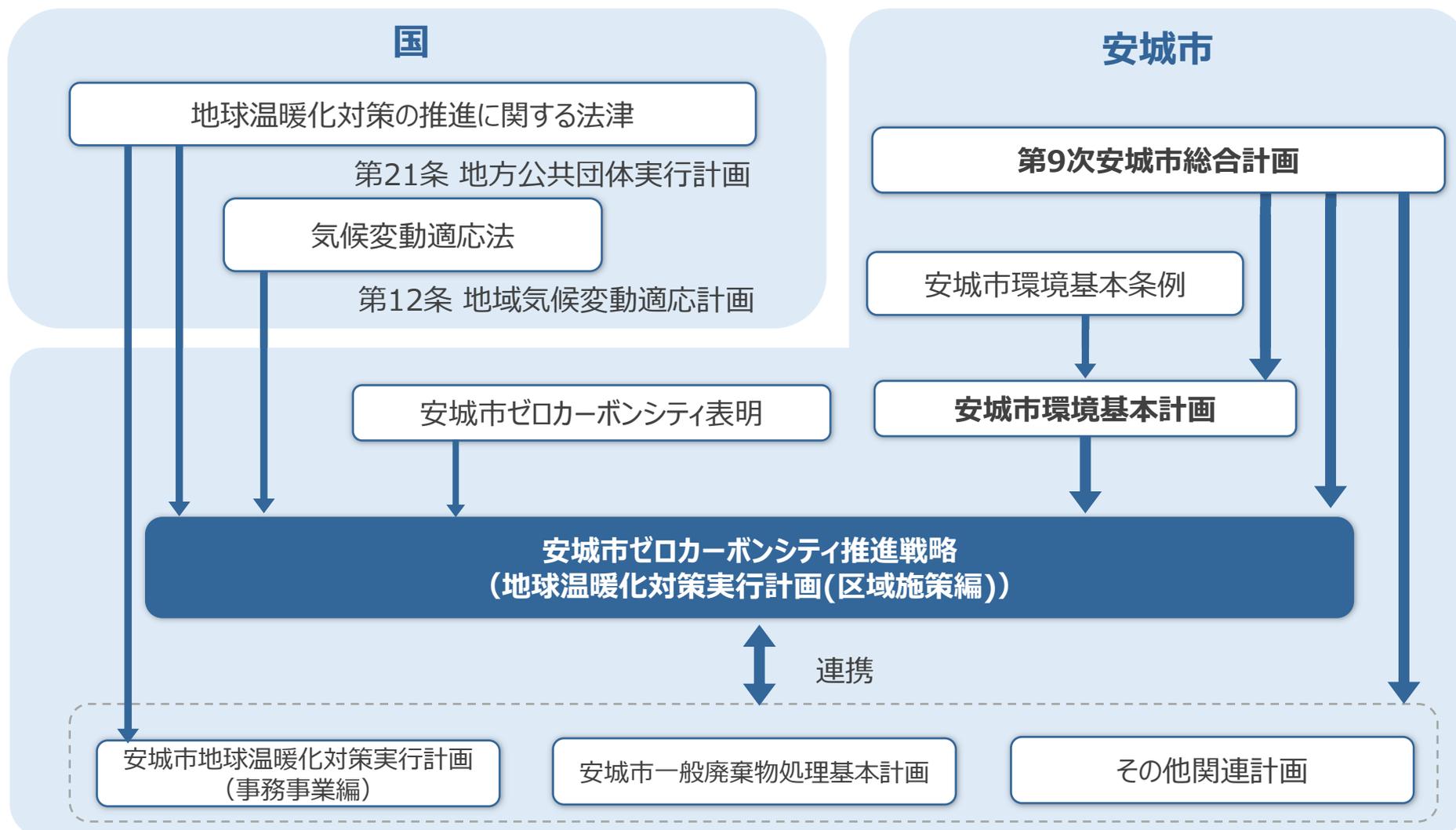
2 戦略の基本事項

本編P7



安城市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

▶ 戦略の位置づけ



2 戦略の基本事項

▶ 目標数値

二酸化炭素排出量削減目標を

2030年度に2013年度比で**46%以上**削減

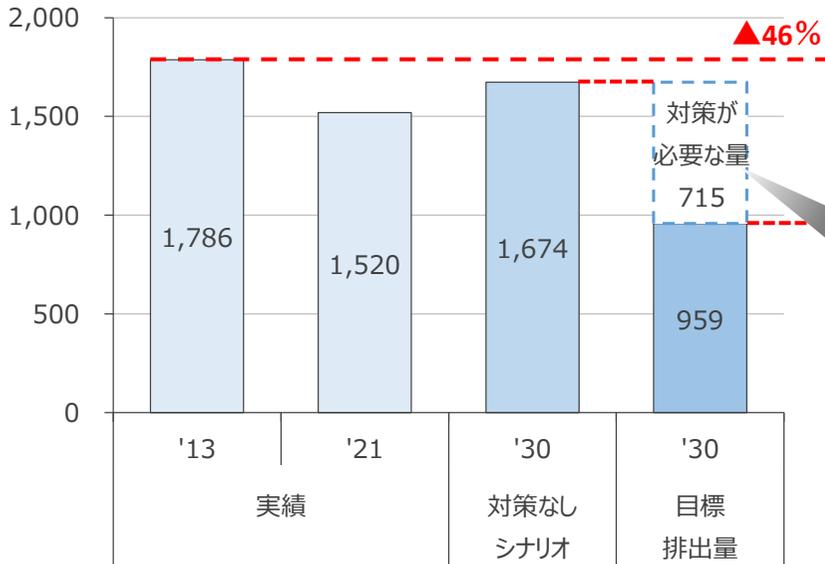
■ 部門別二酸化炭素排出源

部門	排出源
産業	製造業、農林水産業、建設業・鉱業のエネルギー消費に伴う排出
業務	事務所・ビル、商業・サービス業等のエネルギー消費に伴う排出
家庭	家庭におけるエネルギー消費に伴う排出 (自家用車は運輸部門で計上する)
運輸	自動車、鉄道におけるエネルギー消費に伴う排出
一般廃棄物	プラスチックごみ等の焼却に伴う排出

■ 対策が必要な量

CO2排出量

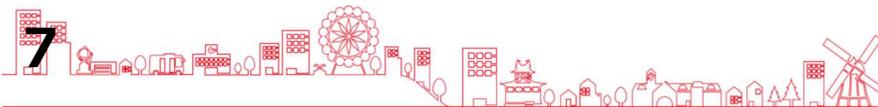
(千t-CO2)



(千t-CO2)

部門	対策が必要な量	削減見込量		
		国連携取組	特定事業所 自主取組	安城市 市(行政)独自取組
産業	410	350.6	56.0	3.0
業務	70	69.7	-	0.7
家庭	77	72.5	-	4.6
運輸	137	136.3	-	0.4
一般廃棄物	21	19.3	-	1.8
合計	715	648.5	56.0	10.5

注) 特定事業所: 年間エネルギー使用量合計が原油換算で1,500kl以上の事業所
四捨五入のため合計等が合わない場合があります。



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

2 戦略の基本事項（修正）

本編目次



安城市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

変更前

目次

2. 戦略の目標

- 2.1 戦略の位置づけ
- 2.2 二酸化炭素排出量と削減目標
- 2.3 ゼロカーボンシティのイメージ

変更後

目次

2. 戦略の基本事項

- 2.1 戦略の目的
- 2.2 ゼロカーボンシティの姿
- 2.3 戦略の位置づけ
- 2.4 二酸化炭素排出量と削減目標

8



ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

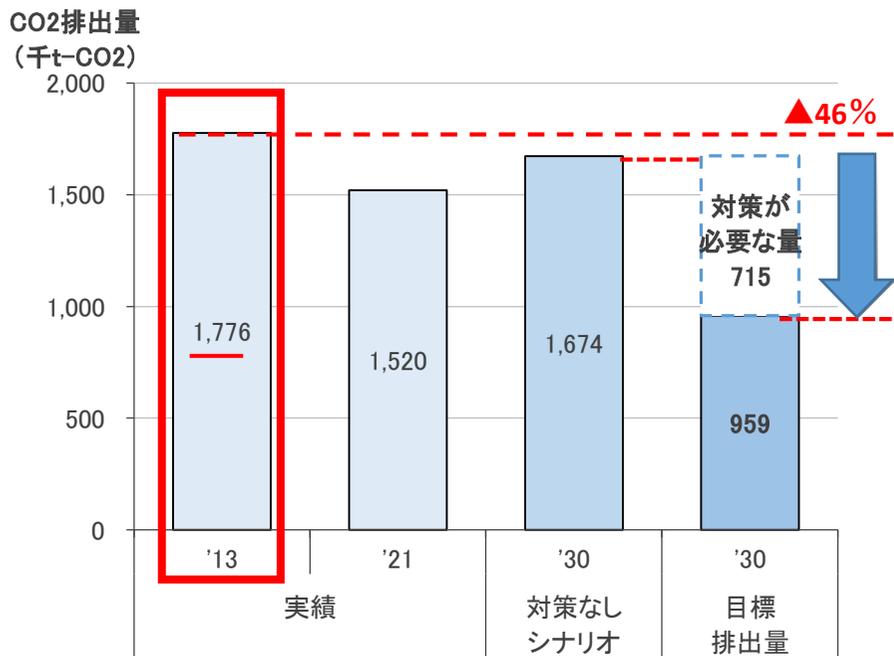
2 戦略の基本事項 (修正)

本編P10,11

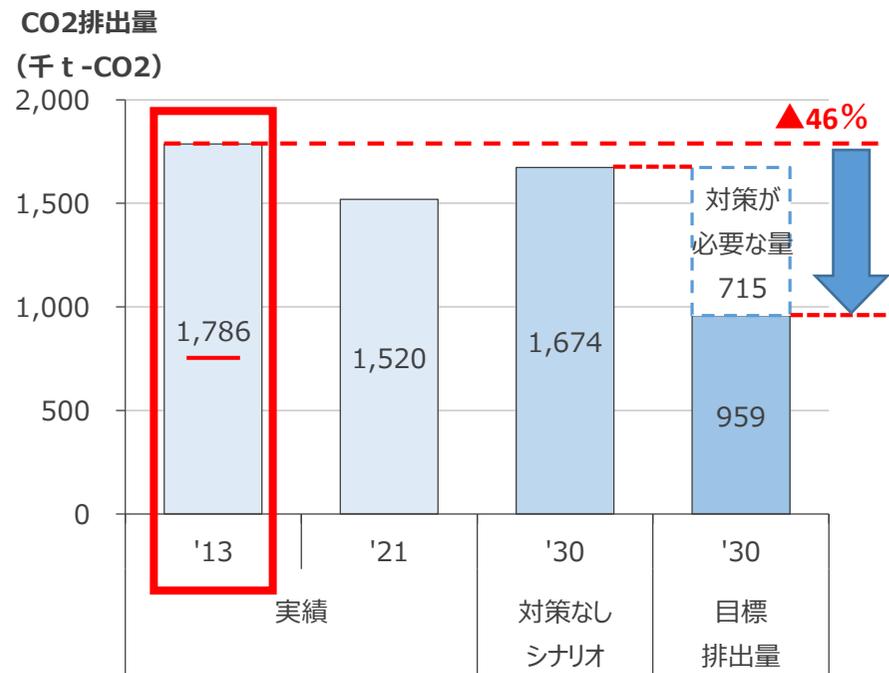


安城市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

変更前

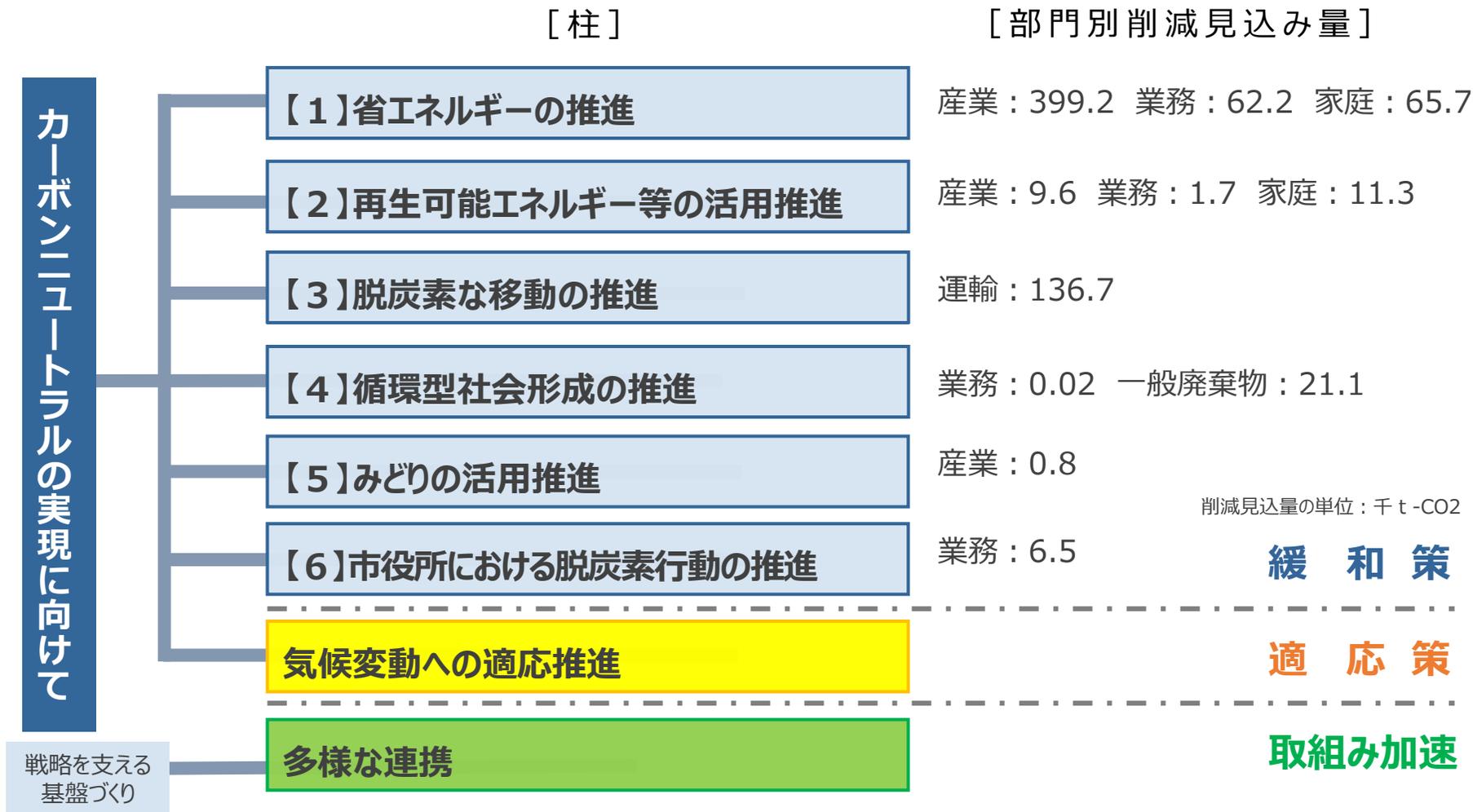


変更後



3 ゼロカーボンシティ実現に向けた戦略

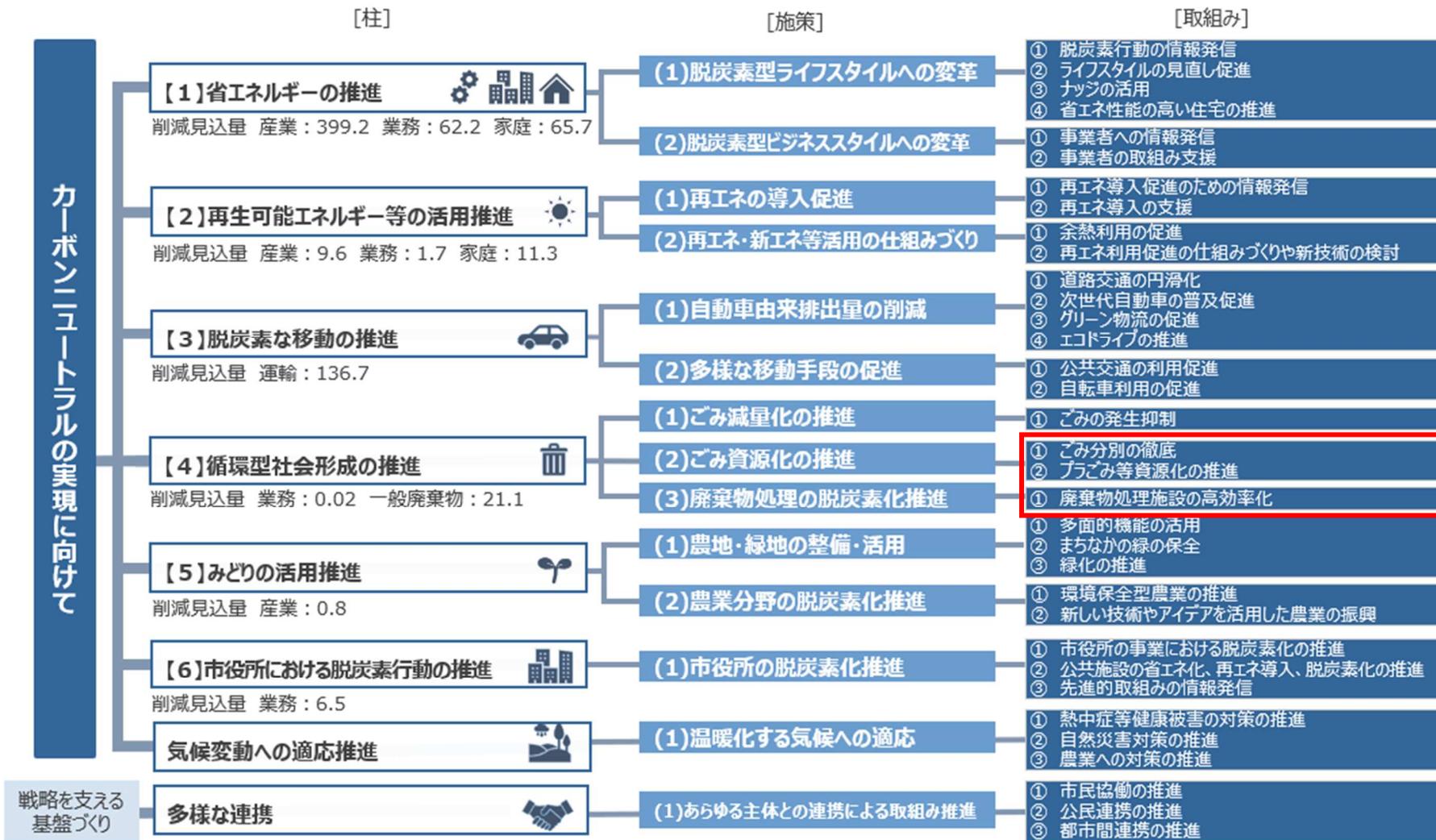
▶ 戦略体系と削減見込量



緩和策・・・二酸化炭素排出量を削減するための施策。適応策・・・気候変化に対して悪影響を軽減する施策。

参照：資料3 安城市ゼロカーボンシティ推進戦略（案）P7

▶ 戦略体系と削減見込量



削減見込量の単位：千 t -CO2



3 ゼロカーボンシティ実現に向けた戦略（修正）

変更前

柱4：循環型社会形成の推進

施策7：ごみ減量化の推進

取組（1）ごみの発生抑制

取組（2）ごみ分別の徹底

施策8：ごみ資源化の推進

取組（1）プラごみ資源化の推進

変更後

柱4：循環型社会形成の推進

施策7：ごみ減量化の推進

取組（1）ごみの発生抑制

施策8：ごみ資源化の推進

取組（1）ごみ分別の徹底

取組（2）プラごみ等資源化の推進

※現在は施策7，8でなく、
施策1，2に変更しております。

▶ 取組み内容

柱〔1〕：省エネルギーの推進

施策（1）：脱炭素ライフスタイルへの変革

取組み③ナッジの活用

ナッジとは、経済的なインセンティブや行動の強制をせず自発的に行動変容を促す仕掛けや手法のことです。
市民が脱炭素に対して自発的に望ましい行動を取れるように、「ナッジ」を活用します。

期待される効果

市民が、無意識に行動変容を促され、環境にとってよりよい選択を取れるようになります。

取組み④省エネ性能の高い住宅の推進

生活の中で生じる環境負荷を抑えるため、高効率機器を導入したり、高断熱住宅の建築、改修を推進します。とりわけ、排出量が多いとされる既設住宅の脱炭素化を進めるための支援策について検討を進めます。

期待される効果

住宅の断熱性能が向上すると、冷暖房のエネルギー使用量が減ることで、光熱費の削減にもつながり、また同時に、夏季の熱中症や、冬季のヒートショックのリスクも下がるので、安心・快適に過ごせます。

▶ 家電製品の買い替えで光熱費がお得になることがあります

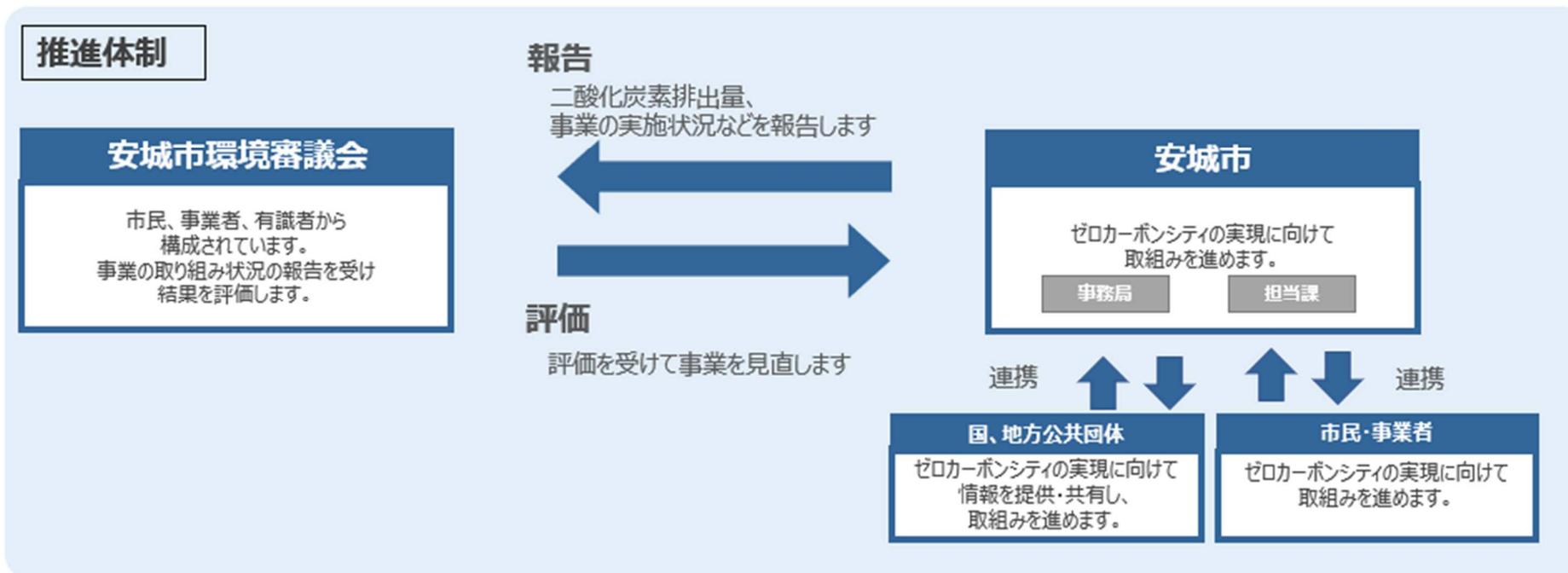
10年以上使用した家電は、今後も使い続けるより、最新機種に買い替えた方が、製造・廃棄に必要なエネルギーを考慮しても、省エネでおトクになる場合があります。古い住宅を最新の省エネ基準に合わせてリフォームすると、冷暖房によるエネルギー使用量を35%削減することが期待できます。

副次的効果の記載



4 進捗管理

本編 P53



- ・安城市環境基本計画の進捗管理と合わせて報告する。
- ・市が実施する事業をもとに「アクションプラン」を作成・公表する。
- ・「アクションプラン」の実施状況を取りまとめた「環境報告書」にて、安城市環境審議会へ報告し評価をいただく。

5 質問事項

本編P31,53



安城市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。

ご意見①クールシェアスポットを今年度導入していたので、加えたらどうか。

変更前

▶やっているかな？

エアコンのフィルターを掃除しよう

月に1~2回掃除すると目詰まりせず、エアコン(2.2kW)と比較した場合年間32.0kWh、15.6kg-CO2削減。

自動で掃除する機能があっても、こまめに掃除しましょう。

室温は適温に設定しよう

冬の暖房時は室温20℃を目安にすると、年間53.1kWh、25.9kg-CO2削減。

夏の冷房時は室温28℃を目安にすると、年間30.2kWh、14.8kg-CO2削減。

変更後

▶エアコンのフィルターを掃除しよう

月に1~2回掃除すると目詰まりせず、エアコン(2.2kW)と比較した場合年間32.0kWh、15.6kg-CO2削減できます。自動で掃除する機能があっても、こまめに掃除しましょう。

▶クールシェア・ウォームシェア

クールシェア・ウォームシェアとは、ひとり一台のエアコンの使用をやめ、みんなで同じ場所に集まり、涼しさや暖かさをシェアすることでエネルギー消費を抑える取組みです。家庭では、複数の冷暖房機器の使用をやめ、なるべく1部屋に集まる工夫をしたり、公共施設などの「クールシェア・ウォームシェアスポット」を利用して、エネルギー消費の削減に取り組みましょう。



15

ともに育み、未来をつくる しあわせ共創都市 **安城**

5 質問事項

ご意見②

P17 (P15) で「人口が減少傾向にある」と記されていますが
P29 (P27) で「人口の増加が見込まれており」とあり、整合性が取れないのではないかと思います。もしくは、説明が必要かと思えます。

変更前

これまで人口は増加していましたが、近年は徐々に減少しています。世帯当たり人口も減少傾向にある一方で、**世帯数は増加**を続けています。

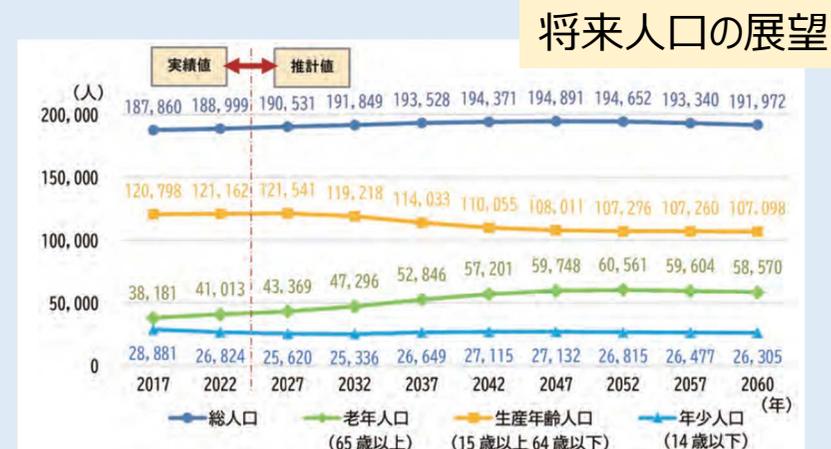
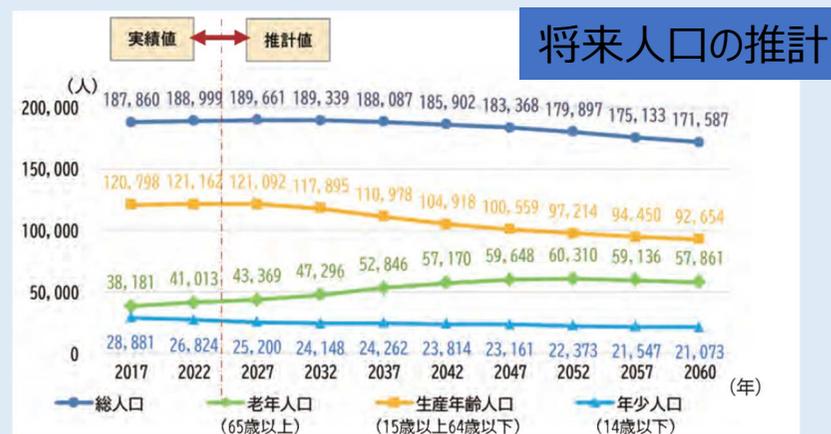
愛知県のなかでも15歳未満の人口割合が高いものの、65歳以上の割合は増加しており、**高齢化**が進んでいます。

変更後

これまで人口は増加していましたが、近年は徐々に減少しています。世帯当たり人口も減少傾向にある一方で、**世帯数は増加**を続けています。

愛知県のなかでも15歳未満の人口割合が高いものの、65歳以上の割合は増加しており、**高齢化**が進んでいます。

なお、第9次安城市総合計画では、転出抑制と転入促進を図ることで、**2047年まで人口が増加する展望を示しています。(追記)**



第9次安城市総合計画より



6 今後のスケジュール

日付	実施項目	実施内容
12月5日	第2回安城市環境審議会	戦略案の説明
12月10日	産業建設部会	戦略案の説明
12月16日～ 1月14日	パブリックコメント	広報、Webサイト等で募集
3月14日	第3回安城市環境審議会	パブリックコメント結果提示・答申
4月1日	施行	—

